

# 競技上の注意

第63回大阪国際招待卓球選手権（全国オープン）広島県予選

審判長 竹中 正樹

## 1. 適用ルールについて

- ・本大会は現行の日本卓球ルールを適用する。
- ・本大会は全て5ゲームズマッチで行う。
- ・本大会ではタイムアウト制は採用しない。
- ・促進ルールは適用しますので、予想される場合は審判長に連絡ください。
- ・同じチームの選手が同じリーグに入った場合はその選手同士の試合を先に行なう。

## 2. 競技領域への立ち入り制限とアドバイザー

- ・日卓登録している1名がベンチにアドバイザーとして入ることができる。  
アドバイザーは1マッチ毎1名で途中交代はできない。
- ・1人のアドバイザーが同時に複数の選手のアドバイザーを兼務することはできる。  
その場合、アドバイザーが移動し、選手はコートを離れてはいけない。

## 3. 用具について

- ・ボールはJTТА公認プラスチック球（ニッカ3スタープレミアムクリーン）を使用する。
- ・外国製ラケットでJTТАAの刻印のないものを使用する場合は、あらかじめ審判長に使用許可を受けること。

## 4. ラケット検査について

- ・いくつかの試合についてマッチの前にラケット検査を行う。違反と判断されたラケットは大会終了まで審判長が保管する。

## 5. 服装について

- ・ゼッケンは2023年度の日本卓球協会指定のものを着用すること。
- ・ダブルスのユニフォームは揃えること。

## 6. 審判について

- ・リーグは同じリーグの試合のない選手が担当する。
- ・トーナメントの第1試合は本部から指名しますので、協力ください。  
その後は敗者審判とします。

## 7. 表彰について

- ・本大会は予選なので表彰はありません。
- ・本大会出場権を得た選手は、県卓事務局に手続きをしてください。

以上